

「羽島市スポーツ推進計画(案)」に寄せられた意見と市の考え方

No.	ページ及び項目	意見	市の考え方
1	P.53 第4章 施策の展開 基本方針5 「スポーツ活動を支える基盤づくり」 目標12 「公共スポーツ施設の計画的な修繕」	<p>■意見 羽島市柔剣道道場、弓道場の建替え。総合武道場の新設。</p> <p>■理由 施設の老朽化が進み、常に修繕が必要となってしまう。多すぎるのでは。また、温暖化も進み、室内でのスポーツが過酷になっている。</p> <p>多くの幅広い年代の方に、快適に利用していただけるよう、また、さらなる温暖化にも対応し、今の時代によりそった建物にする必要がある。</p> <p>バリアフリー化、更衣室の設置、トイレの洋式化</p>	<p>柔剣道道場は1972年、弓道場は1986年に設置されており、施設の老朽化が進むにつれ更新の需要は高まるものの、人口減少や少子高齢化の進展による社会構造の変化に伴い、本市の財政状況は今後より厳しくなると予想されます。</p> <p>このような状況を踏まえ、羽島市柔剣道道場及び弓道場の建替えや総合武道場の新設を本計画期間内に実施することは困難であり、個別施設計画においても既存施設を長期間利用する方針としています。本計画では、「羽島市体育施設建設整備基金」を継続し、将来的な体育施設の在り方を検討することを位置付けています。</p> <p>また、目標指標において、「市有スポーツ施設のトイレの洋式化率」の向上を掲げており、バリアフリー化に努めます。</p>

※原文から軽微な修正をし、記載しています。